

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	詩篇 35-37	38-41	42-45	46-50	51-55	56-59	60-65	66-68
新約	ローマ 6	7	8:1-17	:18-39	9	10	11:1-15	:16-36
チェック	○○○○	○○○○○	○○○○ ●	○○○○ ●●	○○○○ ●●●	○○○○ ●●●	○○○○○ ●●●●	○○○○

「神の栄光があらわれるとき」

～すべての悪・暗黒が滅ぼされる時～

¹²目の前に、火とガラスの海のようなものが広がっていた。そのほとりには、あの悪い獣とその像、またその数字のいれずみとに打ち勝った、すべての人が立っていた。彼らはみな神のハーブを手にして、³神に仕えたモーセの歌と子羊なるイエスの歌とをうたっていた。

『偉大で素晴らしいことしかない♪ 我らの王、全知全能の神よ♪ 正しく真実な道は全世界の王であるあなただけ♪ ⁴ああ、王よ！…♪ 尊敬から誰もがあなたを恐れ♪ 誰もがあなたの名を讃える♪ 聖いのは、あなただけ♪ すべての人があなたを前に、あなたを讃える♪ あなたが正しいと、証明されたから♪』」〔アライブ訳〕

黙示録には最終的なことが記されています。この15章には、モーセの歌と小羊の歌が記されています。「モーセの歌」は出エジプトの中で主が紅海を真っ二つにしイスラエルの民たちを救い出し、悪の象徴である、エジプト人たちを海の底に葬った出来事があった後にイスラエルの民が主に賛美を捧げた歌を指しています。そして、「小羊の歌」は主イエス様の十字架を通して、全人類が罪と悪の奴隷状態から救い出された、真の「出エジプト」を讃えた歌です。主は悪に対しては毅然として立ち向かわれます。そして、容赦なくその裁きを下されます。それこそが、真の救いであり、真の自由です。ですから、私たちは黙示録を読むときに心から主に喜びと感謝の賛美の歌とお捧げするように導かれているのです。

「私たちのまわりにあるすべてのものは、神のご支配の下にあります。それが真理です。この乱れた世にあって、すべてがどのように見えようと、それは結局、神を愛し、神の目的に従って召された者のために、相働きて益となりつつあるのです。国際通貨の悪化が何でしょうか。不況、恐慌、失業が何でしょうか。公害、狂乱物価が何でしょうか。戦争や戦争のうわさがなんでしょうか。社会機構の崩壊が何でしょうか。人類が滅亡の一途をたどっていかうと、それが何でしょうか。そのようなことは、私たち神の子らと何の関係もないのです。神の子らのためには、これらはすべて相働きて益となりつつあるのです。神は、私たちを、そのみ手のうちに居らしめてくださいます。神の全能の翼の蔭に住む者を傷つける者は、どこにもありません。全能の神の影は、恐怖に満ちたこの時代の影よりも遥かに大きいのです。神の子らに悪の恐怖はありません。…。このように言ったからとて、神が私たちを苦しみに会わせないと約束しておられると言うものではありません。乏しい境遇に陥らないと約束されていると言うものではありません。それは、私たちが平和、安全、裕福、繁栄を、神によって約束されているのではないからです。神の約束は、魂の平安、心の安全、それを保証した約束です。そして、私たちは、真に必要なもの一切の、超自然的配給の約束の上に立たされているのです。」

〔デイビッド・ウィルカーソン著「幻」1975年/p149・150より〕